

高山の文化

No.163 2015.4.8 Culture in Takayama

一般社団法人 高山市文化協会発行

高山市昭和町1丁目 高山市民文化会館内 Tel.34-6550 Fax.34-6877

メールアドレス ●mail@takayama-bunka.org
ホームページアドレス ●http://www.takayama-bunka.org
(文化会館の催し物案内はこのホームページをご覧ください。)



木版画「のれん」小井戸 洸二
(作者より当協会へ寄贈。文化会館3階にて展示中)

十周年を迎えます。合併以来、私たちは全市を対象に文化活動を進めてまいりましたが、支所地域にまでその趣旨が充分伝わっていたか疑問です。したがって、これを機に今まで以上に文化協会への加入促進を図り、地域の皆さんと一緒に文化活動が出来る環境と基盤を確立するよう、これからの課題として取り組みたいと考えています。

会員の皆様はじめ市民の皆様には、(一社)高山市文化協会の活動に対して、常にご理解と協力を賜り、昨年度計画した各種事業も、多くの皆様の参加を得て、より良い成果を上げられましたことを、心から感謝を申し上げます。去る三月二十六日開催いたしました文化協会定期総会におきまして、本年度事業計画及び予算の議決をいただきました。同時に協会役員の改選が行なわれ、新体制で新年度の事業がスタートいたしました。今後ともご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いたします。



一般社団法人 高山市文化協会
会長 小林 浩

新文化会館建設を目指して

その一環として、当協会は今年度より、「国府文化ホール(さくらホール)」の指定管理業務を、国府地区社会教育運営委員会と共同で高山市から受託しました。今後は、地区の文化活動の拠点として、より一層活用できるように運営いたします。

また高山市は「第八次総合計画」を本年度からスタートいたしました。当協会では、新しい市民文化会館の建設の必要性を、高山市及び市民の

皆様に訴えてまいりましたが、建設が総合計画に組み込まれることで、ようやく方向性が示されました。

当協会は、新市民文化会館の建設地を、利便性の高い駅西地区に想定しています。文学・芸術・学術等の拠点であると同時に、人々が安心して集い楽しめる多目的な施設として、新市民文化会館建設の具体化を求め、市民の皆様と共に考え、共に行動していきます。

当協会では、この他に「映画鑑賞会」の開催や「自然環境保護」に対する学習等、どれも重点事項として取り組んでまいります。

本年度も(一社)高山市文化協会の活動に対しご協力をお願い申し上げます。

高山市文化協会 会員募集

~高山の文化と一緒に支えてください~

高山市文化協会は、芸術・学術の普及と向上に関する事業を実施し、会員の皆様とともに地域の文化振興と発展に寄与することを目的として設立されている一般社団法人です。この趣旨に賛同いただき、ぜひご入会下さい。

- ◆入会資格 どなたでもご入会いただけます。
- ◆年会費 個人3,000円、団体6,000円、賛助(企業)10,000円
- ◆特典① 毎月発行される広報「高山の文化」を郵送します。
- ◆特典② 高山メセナメイトと同様の会員資格(チケット優待、メセナメイトツアーへの参加、年4回のメセナメイト会報の送付)が得られます。なお、団体会員は2名分、賛助会員は3名分の会員資格を有します。
- ◆特典③ 団体会員は、発表会などの告知や団体の紹介記事などの掲載及び、Hit's FMでの広報を行うことが出来ます(要申込)また、毎年6月頃に開催する「高山文化フォーラム」へ参加いただけます。
- ◆特典④ 会員のみの参加できる研修旅行や講演会などがあります。

「風目(目)」

岩合光昭という写真家が世界中の猫を撮っている。これぞプロの仕事という撮影で、撮られている猫と撮っている人との間に境はない。彼は父子二代の動物専門の写真家だ。超一流の写真家は、動く映像のカメラを持たせてもやはり超一流だ。フィルムを化学処理で現像するときは、何が出るか分からぬという不安と緊張感があった。そこで育ってきた人の目は、電子処理の時代になってもキラリと光る。

今や誰にでも簡単に写真や動画が撮れる。しかし、「私にも写せます」という広がりの中で、写真や動画はともすると深みや重みに欠けることがある。くどいようだが「写っている」だけと「撮る」とでは、全く心構えが違う。

問題は、手にした機械が主人公か、使う人間が主人公かという大事なことだ。これはカメラだけの話ではない。

夏目漱石は、猫の目線で人間社会を見ることにより、筆一本で上手に皮肉った。漱石にもカメラを持たせてみたかった。

春はまた猫がうるさくなる。(ガンモン毛筆)

高山市文化芸術鑑賞事業

○主催 高山市・(一社)高山市文化協会 ○お問い合わせ (一社)高山市文化協会 (tel.0577-34-6550) mail@takayama-bunka.org



May J. Joda Spring Tour 2015 ReBirth

「アナと雪の女王」の日本語主題歌「Let It Go～ありのままで～」を歌った MayJ. が高山にやってくる！
幅広い世代に愛されるその歌声を体感できるチャンス！

平成27年
5/28 木 午後6時30分開演
午後5時30分開場

高山市民文化会館〈大ホール〉

高山市昭和町1丁目188-1

チケット料金(税込) [一般・メセナメイト共] 6,000円 3歳以上有料、2歳以下入場不可
全席指定

チケット発売 4月11日(土)メセナメイト先行発売 午前10時～
4月12日(日)一般発売 午前10時～

ネット受付 午後1時～ <http://www.takayama-bunka.org>

※窓口発売で完売した場合、実施しません。
プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
発売初日に多数の列がある場合、文化会館では購入整理券を配布することがあります。
飛騨市文化交流センター tel.0577-73-0180



主人公の一郎は言葉にならない思いを抱えていた。未だ知らぬ自然の脅威、自分はどう生きるのか?大風が吹き荒れた朝、高田三郎という転校生が現れる。風、それは未だ知らぬ新たな世界。異質なものとの出会いに揺れる一郎。種山ヶ原の雄大な自然を舞台に、三郎と一郎の出会いには二人の生き方を揺さぶっていく。民族芸能、ストンプ、和楽器・洋楽器の生演奏、そして歌。様々なパフォーマンスが出会い、新たな賢治の世界が広がる。

平成27年
5/31 日 午後3時30分開演
午後3時開場

久々野公民館ホール

高山市久々野町久々野1505-4 (JR久々野駅裏、徒歩10分)

チケット料金(税込) [一般] 1,500円
全席自由 [メセナメイト会員] 1,000円
[ジュニア(18才以下)] 500円
※未就学児の入場はご遠慮願います。

チケット発売 4月18日(土)
一般・メセナメイト同時発売 午前10時～
ネット受付 <http://www.takayama-bunka.org>

プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
久々野公民館 tel.0577-52-3112

高山の文化を高めた人々 62

真面目に生きた男 達頂さん
小野ヶ原 達治
小鳥 幸男

小野ヶ原達治さんの事は、「小野ヶ原さん」と呼ぶより、俳号の「達頂さん」と呼んだ方が親しみ深い。

達頂さんを初めて知ったのは、戦後間もない頃、既に私の勤めていた高山市役所へ入ってきたからであった。達頂さんが、山口利男さんの伝手を頼って市役所に勤務するようになったのは、山口さんの言を借りると「あいつあ真面目なもんで、国鉄の組合運動の尻について廻っているうちに、レッド・パージに引っかけた首になった。」であっ



在りし日の達頂さん

良い。ようあんなでかい絵を描いたわ」であった。本人には誠に申し訳ないが、野原の真ん中にボール紙で切り貼ったよう

た。達頂さんをよく知るようになるのは、山口さんや空町出身の十人位のメンバーで組織した俳句会「不もと社」に「君も空町にいっらか関係有るんで、一緒に入らんか」と、分かったような分からんような理由で参加してからである。

その顔ぶれの中の何人かが、大野林火先生主宰の俳誌『浜』に参加していた関係で、私は大野先生に師事し、その後の俳句人生に決定的影響を受けることになった。達頂さんも、その良き仲間の一入であった。

達頂さんが絵の道を志したのは、確か昭和二十年代の後半、初めて「市展」へ出品したのに始まる。当時公民館と呼んでいた、城山の飛騨護国神社下に有った元公会堂（現城山保育園）で初めての市展が開かれ、それに題名迄は記憶にないが、三福寺辺りの牛を描いた水彩画を出品した。これも山口さんの言を借りると「達頂はなかなか度胸が

な牛の写生であって、まるで芝居の書き割りに出てきそうな、小学生でも描けるような稚拙なものであった。

しばらくして、句会の当番が達頂さん宅だったとき、「今こんな絵を描いている」と言って、洗草焼の窯場の景色を描いたと思われる一枚の絵を見せてくれた。即座に、大変失礼ではあったが「構図がえがんでおろのではないか」と言うのと、「そうか、お前もそう思うか。守洞春さんもそう言うわかった」と返された。それで守洞春先生に付いて勉強していることが分かった。



小野ヶ原さんの版画(飛騨文藝の表紙に掲載)

それ以後の達頂さんの精進ぶりは、目を見張るものがあり、やがて日展入選を目指すようになる。爾後版画へ転向して自らの作品を「板画」と呼び、一家言を持つ立派な作家となった。

その作品は、あくまでも真面目に街（まち）を、その人柄を見る佳作を多く残した。その功績は大きく、とかく名を欲しがらばかりの世界にあつて、泰然自若として我が道を行く達頂さんの生き様に、教えられる所が多々ある今日この頃である。



若かりし達頂さんと私(伊豆大島にて)

「道伝えの日茶会」は、平成十七年の高山市文化伝承館開館当初より行われていて、恒例行事です。とかく難しいものと思われがちな「茶道」を、気軽に楽しみ親しんでもらうことを目的に開催しており、広く市民の皆様が親しまれています。たまにはちょっと余所行きの服を着て、桜の花咲く城山へお出かけください。

今回は、売茶流（煎茶）と表千家（抹茶）がお点前されます。また併せて、一月に開催した「新春飾り物展」の優秀作品も展示します。皆様のお越しをお待ちしております。



第39回 飛騨文芸祭作品募集

- 一、応募資格
飛騨三市一村に在住か在勤、出身の方
- 二、対象作品
平成二十六年八月十六日から平成二十七年八月十五日までに創作または発表された作品（既発表作品も可）
- ①小説、戯曲、児童文学等
四百字詰原稿用紙百枚以内 一篇
- ②随筆、評論等
- ③現代詩 三編
- ④短歌、俳句 十首(句)
- ⑤短歌、俳句(高校生以下) 五首(句)

- ※必ず、規定の篇(首・句)で応募してください。超えても不足しても審査の対象となりません
- ①自主応募②団体や結社等による推薦(推薦用紙は適宜)
- 応募作品に、小説・戯曲・随筆・現代詩などの区別を明記し、住所、氏名、電話番号を記入
- 高校生以下の応募者は、学校名と学年を明記
- 封筒に「文芸祭応募」と記入
- 既発表作品の場合は、印刷物またはコピーによる提出も可
- メールによる応募も可
- 対象作品中①、②の入賞作については、デジタルデータ

- 提出していただきます
- 四、応募締切
平成二十七年八月十五日(当日消印可)
- 五、送付先
〒五〇六・〇〇五三
高山市昭和町二丁目一八八、高山市文化協会
- 一 (一社) 高山市文化協会メールの場合 mail@takayama-bunka.org
- 六、審査
高山市文化協会文芸部委員と文芸部門より選出の役員で予選し、最終審査は、必要に応じ専門の方々を加え選考します

- 七、発表
十月中旬に入賞者へ通知、広報「高山の文化」等に掲載
- 八、賞
文芸祭賞
一人 賞状及び副賞
江夏美好賞(小説のみ)
一人 賞状及び副賞
入賞(高山市長賞ほか)

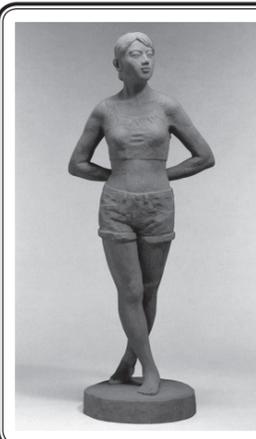
- 九、その他
応募作品は返却しません
- 十、問合せ
高山市文化協会(TEL三四六五五〇)
- 十一、賞状及び副賞
若干名 賞状及び副賞
- 十二、賞状及び副賞
若干名 賞状及び副賞

改組新第一回日展 特選 元田 木山さん木彫「スタートの朝」

若い女性が登頂を目指す朝、眼前の岸壁に緊張と不安を感じながらも立ち向かう姿に、今の時代性も重ね、力強さと希望を込めて制作した。楠の原木に1kgのハンマーを振り下ろし、その時のノミ痕を大切にした作品。

文化協会評議員である元田木山さんは、平成25年までに日展に13回入選され、今回は特選に選ばれました。

高さ182cm、幅72cm、奥行50cm



(一社)高山市文化協会 平成27年度事業計画

月日	事業名	内容・場所
毎月開催	理事会・評議員会	
随時開催	三役会、各委員会	
随時	市長と語る会	
〃	国内・国外他都市との文化団体の交流	
通年	市近代文学館の研究・調査	市近代文学館の研究・調査資料収集
〃	指定管理受託	市民文化会館、市文化伝承館、市松本家住宅、市宮地家住宅
〃	ユネスコの世界文化遺産登録の運動の推進について	「高山祭の屋台行事」のユネスコ無形文化遺産への登録に向けた取り組みを支援
〃	高山市文化協会組織強化	高山市文化協会・メセナメイト会員随時募集
〃	ホームページ	市民文化会館自主事業・文化協会事業案内
〃	自然環境保護事業	自然保護事業の取り組みについて
〃	初心者入門講座の開設継続	初心者入門講座の開設継続
〃	広報発行	月1回程度発行 事業案内・作品募集等
〃	新市民文化会館建設推進運動	市民啓発・募金活動
随時	市文化伝承館「道伝えの日」	4/25・26道伝え茶会・飾り物展 お月見歌会、芭蕉忌句会 他
5月下旬	定期総会	平成26年度決算総会
5月28日	May J.Spring tour 2015	文化芸術鑑賞事業 文化会館・大ホール
5月31日	劇団わらび座「風の又三郎」	文化芸術鑑賞事業 久々野公民館
6月6日・7日	高山文化フォーラム2015	市民文化会館 芸能・展示
6月25日	爆笑寄席	文化芸術鑑賞事業 丹生川文化ホール
6月中旬	第15回市民歴史散歩	
7月1日～7日	デンバー文化交流	チェリークリークアートフェスティバル(デンバー)
7月5日	東京楽所「七夕の雅楽」	文化芸術鑑賞事業 こくふ交流センター
7月23日	松竹大歌舞伎	文化芸術鑑賞事業 文化会館・大ホール
8月20日	文学碑掃苔	文学散歩道整備・清掃
8月23日	たかやま歌声喫茶(歌声広場)	文化芸術鑑賞事業 文化会館・小ホール
10月3日・4日	第23回 近代文学館企画展	換章館
10月16日～18日	日本板画院 東海支部 高山展	市民文化会館 4階大会議室
10月31日	フラメンコ公演	文化芸術鑑賞事業 こくふ交流センター
11月3日	オーケストラアンサンブル金沢	文化芸術鑑賞事業 文化会館・大ホール
11月下旬	飛騨文藝No.39	文芸祭入賞作品集発行
11月～12月	第39回飛騨文芸祭青竜賞表彰	市民文化会館
12月10日	ゴスペル公演	文化芸術鑑賞事業 文化会館・大ホール
平成28年1月1日	新年市民互礼会 文化功労者顕彰 第39回飛騨文芸祭入賞者表彰	高山グリーンホテル
1月15日～17日	飾り物展	市民文化会館 3階講堂
2月19日～21日	まちの博物館所蔵品展	市民文化会館 3階講堂
3月	第24回 近代文学館企画展	換章館
3月	近代文学館講演会	換章館
3月	定期総会	平成28年度予算総会
未定	会員研修旅行	先進地・施設研修
〃	文化講演会	市民文化会館
〃	文化映画会	市民文化会館

※この他にもいくつかの文化芸術鑑賞事業を予定しています ※日程は変更する場合がありますので、ご了承ください

道伝えの日 お茶会と飾り物

4月25日(土) 26日(日)

「道伝えの日茶会」は、平成十七年の高山市文化伝承館開館当初より行われていて、恒例行事です。とかく難しいものと思われがちな「茶道」を、気軽に楽しみ親しんでもらうことを目的に開催しており、広く市民の皆様が親しまれています。たまにはちょっと余所行きの服を着て、桜の花咲く城山へお出かけください。

文化協会 加盟団体紹介 【煎茶道売茶流 高仙会】 代表 三島 秀子

お茶は、私たちの日常生活に無くてはならない物の一つです。心を込めて美味しく入れたお茶は、飲む人の心を和ませてくれますが、それだけに心配りも必要です。

湯加減、茶葉の分量、時間などの細かい遣いがさされて、初めて美味しいお茶が出るのです。その為の手順がお点前へと発展し、煎茶道となつて今に有ります。茶道は、約束事が多いと思われがちです。しかし煎茶道では、開放的で自由な雰囲気大切にしています。そして、お道具が多様で小さく可愛らしいのも魅力の一つです。また、健康志向の近年では、お茶の効用が色々と認められています。

私達売茶流は、和やかな雰囲気の中、日々精進しています。その中で学ぶことは、どなたでも毎日の生活に役立つ事だと思います。お稽古は二ヶ所で行っています。是非一度見学にお越しください。

問合せ TEL三三三・九六六九

※この他にもいくつかの文化芸術鑑賞事業を予定しています ※日程は変更する場合がありますので、ご了承ください